

ラジオ波の 「実際」を知る

ラジオ波の作用機序・効果

ユーザーによる有効症例報告



ラジオ波治療の実際・症例報告検討会 仙台

日 時 2024年6月30日（日）
10:00～13:00（受付9:30～）

場 所 PARM-CITY131 多目的ホール
仙台市青葉区一番町3-5-1
土屋不動産ビル 3階

参加費 無料 **定 員** 30 名

問合せ 090-9251-8228（キタガワ）

講師紹介



高橋智士 (satoshi takahashi)

酒井医療(株) リハビリテーション推進部 部長代理
札幌医科大学 臨時講師

各スポーツ競技団体、プロスポーツにも物療の普及に努め、医療系大学や専門学校、全国の病院から物療の授業、セミナーを依頼され年間 180 回におよぶ物療の情報提供をしています。

セミナー内容

第一部：ラジオ波について

ラジオ波とは何か？有効適用症例は？トピックスなど実技を交えて解説いたします。

第二部：症例検討会

実際にラジオ波を導入されているユーザー様より、有効症例の発表や機器運用について「現場の声」を元に解説いただきます。

質疑応答

参加のお申込について



酒井医療 セミナー

検索

QRコードまたは「酒井医療」のホームページよりお申込みください。トップページの「セミナーイベント」から「セミナー一覧」ページへアクセスすることができます。該当のセミナーからお申込フォームにご入力ください。



PARM-CITY131 多目的ホール

仙台市青葉区一番町3-5-1

土屋不動産ビル 3階

アクセス



高い疼痛緩和効果と 温熱持続性の実証

15分の施術で、温熱の届く深さは5～10cm、体内温度を3～5℃高めます。施術後も体内温度はすぐに下がることがなく、3～4時間維持される特長を持っています。腰痛を含めた様々な疾患に苦しんでいる患者※の81%に対して痛みの軽減に高い効果が認められています。



※ 引用文献：腰痛に対する静電容量の電気伝送温熱療法の臨床効果

Clinical Effect of Capacitive Electric Transfer Hyperthermia Therapy for Lumbago

Kuniyasu Takahashi1), Tetsuo Suyama1), Makiko Onodera1), Shigeru Hirabayashi2), Nobuyuki Tsuzuki2), Li Zhong-Shi2) 1) Department of Rehabilitation, Saitama Medical Center, Saitama Medical School, Kamoda-Tsujidomachi 1981, Kawagoe City, Saitama 350-8550, Japan 2) Department of Orthopaedic Surgery, Saitama Medical Center, Saitama Medical School J.Phys.Ther.Sci.11:45-51,1999 © The Society of Physical Therapy Science

一般的名称：超短波治療器 フィジオ ラジオシステム プロ 医療機器承認番号：23100BZX00107000